

大阪医療技術学園専門学校

松 良 尚 子*

I. 本校の沿革

本校は、1978年(昭和53年)に薬の街・大阪で薬業人養成の学校、大阪薬学専門学院としてスタートしました。翌1979年(昭和54年)大阪府知事の認可を受けて財団法人大阪医療技術学園を設立し、臨床検査技師・医療秘書科の育成を開始しました。1980年(昭和55年)には、大阪薬学専門学院と大阪医療技術学園を統合し、学校教育法に基づく専修学校として、現在の大阪医療技術学園専門学校となりました。その後、医療・保健・福祉の連携ができる人材養成の必要性により、医療心理科、鍼灸師学科、言語聴覚士学科、東洋医療教員養成科を設置。また、2009年(平成21年)には、設置母体を「学校法人大阪滋慶学園」に移管し、現在の形となりました。開校以来、現在までに全学科合わせて約13万人の卒業生を輩出しています。

II. 教育理念

「高等職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションとして、「実学教育、人間教育、国際教育」の3つの教育理念のもと、実践的な行動ができる人材の育成に取り組んでいます。

業界の最新の技術と知識を身に付けた即戦力を育成する「実学教育」、コミュニケーション能力やチームで仕事ができる能力など社会人として生きていくための力を育てる「人間教育」、そしてグローバル社会を羽ばたける国際的感性を身につ

けて貫く「国際教育」を建学の理念として、学生一人ひとりの成長に目を向けて一貫した職業人教育を行っています。

この3つの教育理念に基づき、社会で役立つ技術・知識を身につける「専門教育」と人を育てる「キャリア教育」を目指しています。社会人としての基礎力を養い、社会の一員として、また、各業界の第一線で活躍中の専門家を講師に迎え、産学協同での実務教育などを通して、高いプロ意識を持った人材を社会に送り出しています。これらの人材育成により、卒業生が文字通り「即戦力」として業界で活躍することを期待しています。これらの教育指針は、入学前から卒業後まで生涯を通じて行っています。

III. 入学前教育

AO入試等で早期に入学を決めた生徒に対して、その後の高校生活を充実したものにするため、また、必要な基礎学力の確認・補習、入学後の学部・学科で必要な専門知識の習得、モチベーションの維持のために入学前の8月、11月、1月、3月には登校日を設定しており、コミュニケーションスキルの向上を目指すプログラムや入学前授業を体験し、また、入学前からクラスメート達と対面することで、新たな学校生活への不安を少しでも解消できるように対策しています。また、国語・数学・基礎化学・基礎生物、生物・一般教養の計6科目に対し、3回ずつ通信添削を行っています。これらの課題に対しては入学後のオリエン

*臨床検査技師科 n-matsura@ocmt.ac.jp

テーション期間中に確認小テストを実施し、入学前教育の成果を確認しています。

IV. 教育内容

1年次前期には、基礎科目や教養科目を中心として学びながら学校生活のリズムを定着させ基礎力を身につけ、後期から専門基礎分野を学び、検査への興味を深めていきます。2年次は実習を交えながら専門科目を学ぶことで、学ぶ内容を具現化していきます。3年次前期は半年間の臨地実習、後期は国家試験対策としています。授業の基礎専門分野は本校の専任教員が受け持ち、その他の専門科目は臨床検査での現場経験の豊富な講師が中心となって担当しています。

また、希望者には、臨床検査技師国家試験以外に、MOS検定や中級バイオ技術者認定試験、サービス接遇検定などの認定資格の取得を目指し、対策補習を行っています。

V. 臨地実習

校内での座学・学内実習とともに、病院に出向いての「学外実習」も重視しています。臨地実習は3年次の4月から9月に行っており、附属病院を持たない本校では、1~4名の少人数グループに分かれ、大阪を中心とした近畿一円の約50施設の病院での実習を行い、各施設の臨床検査技師および医師の先生方にご指導を受けています。

また、この実習での学びの集大成として、実習終了の9月には臨地実習報告会を実施しています。この実習期間に学んだ内容から1つのテーマを選び、スライドを用いて発表を行っています。

VI. 国際教育

本科では2年次に海外研修として、アメリカの臨床検査技師の養成学校にて受講、医療施設の見学、現地学生との交流を行っています。海外との

医療制度や検査方法の相違点など医療事情等を学ぶことで、視野を広げ、国際的な職業人を目指しています。今年の研修では、海外で働いている本校の卒業生も通訳として参加してくれており、後輩達に海外での生活や仕事への考え方などをお話してもらいました。

VII. 卒後教育・生涯教育

就職して社会人となった後も、勉強会やセミナーを通じて、新たなキャリアを身に付けるため「卒業後のフォロー教育」、一般の方を含めて「生涯教育」も充実させ、業界で活躍する卒業生達にスキルアップの場を提供しています。特に細胞検査士資格認定試験対策講座は大変人気のある講座で、毎年定員を超える応募があります。働きながら学べるように、平日の夜間および土曜日の午後からの講義・実習で、約半年間のプログラムが実施されており、毎年多くの合格者を輩出しています。また、グループ校として2011年(平成23年)春に開校した滋慶医療科学大学院大学は全国初でかつ現在唯一の「医療安全管理学」修士課程が学べる大学院として、医療機関などのセーフティーおよびリスクマネジメントにあたる人材や研究者を育成しています。本校の卒業生だけでなく、看護師、臨床工学技士など様々な職種と経歴の方々にキャリアアップを目指す門戸を開いています。本科からは4名の卒業生が修士課程を修了されています。

さいごに

入学前から卒業後にいたるまで、「一人ひとりの成長、人生のサポート」を目標として、日々学生と向き合っています。卒業生の皆さんが医療業界を支える人材として活躍されることを期待しています。